

令和7年度
船橋市衛生試験所年報

(令和6年度事業実績)

第1号

船橋市衛生試験所

はじめに

平素より、船橋市衛生試験所の業務運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年報は、当試験所が令和6年度に実施した各種検査、調査研究、健康危機管理への対応など、公衆衛生の向上に寄与するために行った業務の概要をとりまとめたものです。

当試験所は、新型コロナウイルス感染症拡大時の経験を踏まえ、関係機関とのネットワークの構築のため、令和3年度に地方衛生研究所全国協議会に加入し、地域における科学的かつ技術的な中核機関としての位置づけを明確にいたしました。これにより、国立感染症研究所等から感染症の最新情報を直接入手できる体制が整い、新興・再興感染症が発生した際には、都道府県等に準じた迅速な対応が可能となっております。

また、健康危機対処の面では、令和6年4月に健康危機対処計画(感染症編)を策定し、平時から有事を想定した準備体制の構築と人材育成に注力してまいりました。国立感染症研究所が主催する「新興再興感染症に対する検査初動訓練」にも積極的に参加し、新規検査法の早期導入と検査マニュアルに基づく体制整備を進めてまいりました。

さらに、食品衛生・環境衛生分野においても、食中毒や感染症の迅速な検査体制を維持し、地域の公衆衛生の向上に貢献してまいりました。

今後も、地域の健康危機管理を支える技術部門として、科学的根拠に基づいた判断と公正な検査を実施するとともに、関係機関との緊密な連携のもと、市民の皆さまの安心・安全に貢献してまいります。

最後に、本年報作成にあたりご協力いただきました関係機関の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年2月 船橋市衛生試験所長

目 次

第 1 章 概要

1. 沿革	1
2. 施設概要	2
3. 組織及び事務分掌	3
4. 職員配置	3
5. 主要機器	4

第 2 章 検査業務概要

1. 微生物学的検査業務	7
2. 臨床検査業務	12
3. 食品衛生検査業務	12
4. 環境衛生検査業務	14
5. 精度管理業務	14

第 3 章 調査・研究

1. 市内飲食店で発生した腸管出血性大腸菌による食中毒事例について (検査部門からの報告)	17
--	----

第 4 章 その他

1. 学会・研修等への参加 (参加履歴の一覧)	19
2. 公衆衛生情報等の収集・解析・提供	20

第 1 章 概要

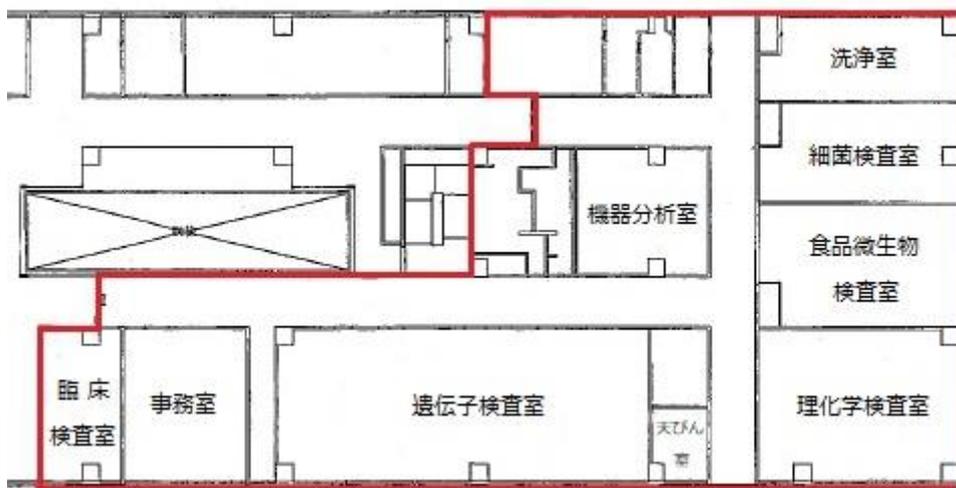
1 沿革

平成 14 年	11 月	中核市指定に関する政令公布
	12 月	船橋市保健所施設として使用するため千葉県船橋合同庁舎 4 階検査室の改修
平成 15 年	4 月	千葉県船橋合同庁舎の 3、4 階部分（旧千葉県船橋保健所の一部）を借用し、船橋市が保健所業務を開始。総務課、保健予防課、衛生指導課の 3 課体制。総務課検査係となる。
平成 16 年	7 月	エイズ検査に併せてクラミジア・梅毒検査を開始
平成 19 年	7 月	肝炎ウイルス検査を開始
平成 27 年	10 月	北本町に開設した船橋市保健福祉センター内に保健所を移転。保健所は組織改正により、総務課、地域保健課、健康づくり課、保健予防課、衛生指導課の 5 課体制。総務課検査係となる。
平成 29 年	4 月	保健所の効果的、効率的な行政運営のため、総務課と保健予防課を統合し、保健総務課を新設。これにより、保健総務課、地域保健課、健康づくり課、衛生指導課の 4 課体制。保健総務課検査係となる。
令和 3 年	5 月	船橋市衛生試験所として地方衛生研究所全国協議会に加入
令和 5 年	4 月	保健所組織改正により、感染症対策等を所管する健康危機対策課を新設し、保健総務課から結核感染症係、検査係（船橋市衛生試験所）、災害医療対策係を移管。また、地域保健課と健康づくり課を健康部に移管し、地域保健課から疾病対策係、精神保健福祉係、栄養業務の一部を保健総務課に移管。これにより、保健総務課、健康危機対策課、衛生指導課の 3 課体制。健康危機対策課検査係となる。
令和 7 年	4 月	組織改正により、健康危機対策課検査係を第三種事業所である衛生試験所として行政組織上に位置づけ

2 施設概要

名 称 船橋市衛生試験所
所 在 地 船橋市北本町1丁目16番55号 保健福祉センター4階
面 積 約620㎡
開設年月日 平成15年4月1日
(平成27年10月1日に現在の所在地へ移転)

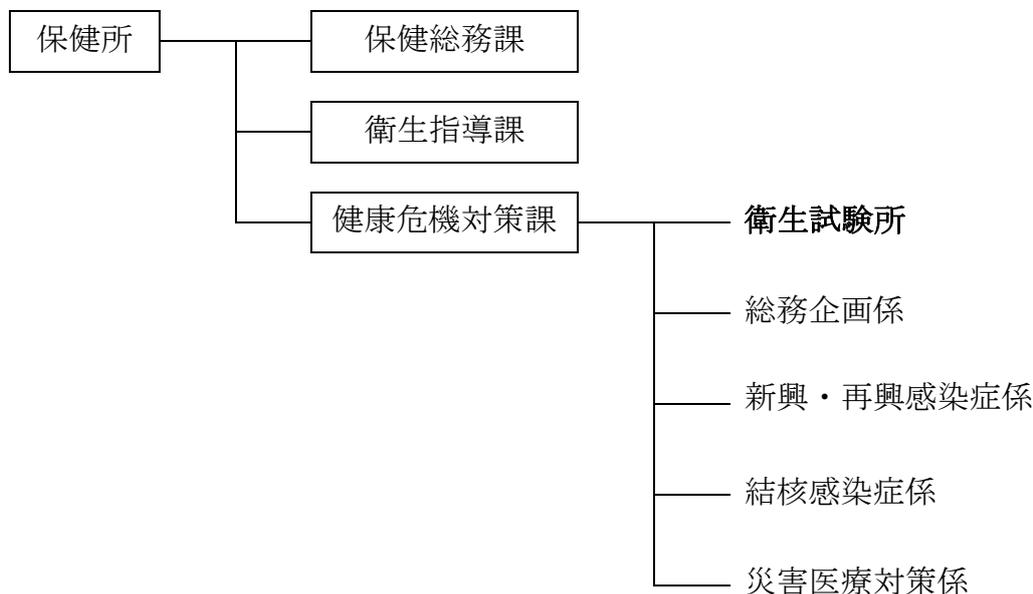
平 面 図



3 組織及び事務分掌

(1) 組織図

(令和7年4月1日現在)



(2) 事務分掌

係・所	分掌事務
衛生試験所	① 衛生試験所の管理運営に関すること。 ② 感染症及び食品衛生分野の調査研究に関すること。 ③ 細菌検査及びウイルス検査に関すること。 ④ 臨床検査に関すること。 ⑤ 食品衛生検査に関すること。 ⑥ 環境衛生検査に関すること。 ⑦ 地域保健に関する情報の収集・整理・活用に関すること。 ⑧ 公衆衛生人材の育成を目的とした研修指導等に関すること。

4 職員配置

(令和7年4月1日現在)

区分	獣医師	薬剤師	保健師	会計年度 任用職員	合計
所長		1			1
検査担当	2	3			5
感染症調査担当			1		1
合計	2	4	1	0	7

5 主要機器

(取得金額50万円以上)

機器名	メーカー・型式	取得年月日
冷蔵庫	三洋電機三洋電機 MPR-504 (H)	平成22年 4月 13日
光度計	島津製作所 Uvmini-1240	平成22年 9月 10日
位相差顕微鏡	OLYMPUS BX53-33-PH	平成23年 7月 19日
インキュベーター	ヤマト科学 IQ822	平成24年 12月 28日
リアルタイム濁度測定装置	栄研化学 Loopamap EXIA	平成26年 1月 16日
冷却遠心機	トミー精工 MX-107	平成26年 1月 28日
サーマルサイクラー	タカラバイオ TP-350	平成26年 6月 11日
冷却遠心機	KUBOTA 5811	平成27年 2月 26日
位相差顕微鏡	OLYMPUS BX-53-33-PH	平成27年 3月 2日
インキュベーター	ヤマト科学 INC820	平成27年 3月 2日
超音波洗浄装置	TOCHO IUC-1200	平成27年 3月 6日
オートクレーブ	平山製作所 HVE-50	平成27年 3月 6日
プレハブ冷蔵庫	パナソニック PCU-SV 100ME	平成27年 3月 13日
安全キャビネット	日本エアーテック BHC1607ⅡA2	平成27年 3月 16日
高速液体クロマトグラフ分析器	島津製作所 LabSolutions HPLC システム	平成27年 10月 22日
ドラフトチャンバー	アズワン ダクトレスヒュームフード DL-12	平成27年 11月 25日
微量高速冷却遠心機	トミー精工 MX-307	平成28年 1月 26日
DNAシーケンサー	ライフテクノロジーズジャパン 3500-150-BA01	平成28年 1月 28日
オートクレーブ	平山製作所 HVE-50	平成28年 2月 2日
オートクレーブ	平山製作所 HVE-50	平成28年 2月 2日
超高速冷却遠心機	日立工機 himacCP80NX	平成28年 2月 5日
エバポレーターシステム	東京理化工機 N-1300V-W	平成28年 2月 10日
パルスフィールド電気泳動システム	バイオ・ラッドラボラトリーズ CHEF-DRⅢチラーシステム	平成28年 2月 15日

機器名	メーカー・型式	取得年月日
インキュベーター	ヤマト科学 IQ822	平成 28 年 2 月 18 日
系統樹解析ソフトウェア	APPLIED MATH BioNumerics V7.5	平成 28 年 2 月 22 日
安全キャビネット	日本エアーテック BHC-1307ⅡA2	平成 28 年 2 月 24 日
安全キャビネット	日本エアーテック BHC-1000ⅡA	平成 28 年 2 月 24 日
食品細菌試験前処理システム	セントラル科学貿易 自動秤量希釈装置	平成 28 年 2 月 26 日
マイクロプレート光度計	コロナ電気 MTP-310	平成 28 年 2 月 26 日
リアルタイムPCRシステム	ライフテクノロジーズジャパン QuantStudio3	平成 28 年 3 月 24 日
インキュベーター	ヤマト科学 IQ822	平成 29 年 2 月 20 日
インキュベーター	ヤマト科学 IQ822	平成 29 年 2 月 20 日
超音波洗浄装置	東京超音波技研 IUC-1200	平成 29 年 2 月 24 日
水分活性測定装置	DKSH ジャパン LabTouch-aw BASIC	平成 29 年 12 月 21 日
遠心機	コクサン H-40α	平成 29 年 12 月 21 日
クリーンベンチ	オリエンタル技研工業 RVCT-1610	平成 31 年 3 月 15 日
マイクロプレートウォッシャー	サーモフィッシュャーサイエンティフィック Wellwash	平成 31 年 3 月 15 日
微量高速冷却遠心機	トミー精工 MDX-310	令和 2 年 1 月 27 日
安全キャビネット	日本エアーテック BHC-1310ⅡA2	令和 2 年 3 月 6 日
リアルタイム PCR システム	ライフテクノロジーズジャパン QuantStudio3	令和 2 年 5 月 27 日
リアルタイム PCR システム	ライフテクノロジーズジャパン QuantStudio5	令和 2 年 8 月 19 日
超低温槽	マイバイオ VT-208HC	令和 3 年 2 月 5 日
次世代シーケンサーシステム	イルミナ iSeq100 システム 20021532	令和 3 年 12 月 22 日
純水製造装置	ヤマト科学 WG252	令和 6 年 10 月 21 日

第2章 検査業務概要

1 微生物学的検査

感染症法に基づく病原微生物検査を実施した。また、食中毒及び有症苦情等に関する検査を実施した。

①感染症対策検便検査実績

医療機関からの感染症の届出による患者・経過者及び接触者等について検査を実施した。
(単位：件)

区分 年度	便		項目				検出状況	
	患者・ 経過者	家族・ 接触者	赤痢菌	チフス菌	パラチフス A 菌	腸管出血性 大腸菌	腸管出血性 大腸菌	
令和4年度	54	113	-	-	-	167	21	
令和5年度	26	60	-	-	-	86	8	
令和6年度	41	54	2	-	-	93	18	

②レジオネラ属菌検査実績

レジオネラ症患者の検体検査を実施した。

(単位：件)

区分 年度	検体数	項目内訳		
		喀痰		
		培養法	菌種・血清群	遺伝子パターン解析
令和4年度	2	2	1	-
令和5年度	1	-	1	1
令和6年度	3	3	2	-

③蚊媒介感染症検査実績

採取した蚊の検査及び蚊媒介感染症が疑われる患者の検体検査を実施した。
令和4年度の蚊の検査は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。

(単位：件)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
検体数		3	3	2
蚊	デングウイルス	-	-	2
	チクングニアウイルス	-	-	2
	ジカウイルス	-	-	2
血液	デングウイルス	2	2	-
	チクングニアウイルス	2	2	-
	ジカウイルス	2	2	-
尿	デングウイルス	1	1	-
	チクングニアウイルス	1	1	-
	ジカウイルス	1	1	-

④エムポックス検査実績

エムポックスが疑われる患者の検体検査を実施した。

(単位：件)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
検体数		-	6	5

⑤感染性胃腸炎対策検査実績

原因不明の胃腸炎として届出のあったものについて、病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
検体数		55	3	5
項目数		152	15	20
項目内訳	A群ロタウイルス (IC法)	37	3	5
	アデノウイルス (IC法)	37	3	5
	アデノウイルス	-	-	2
	サポウイルス	14	3	2
	ノロウイルス (IC法)	55	3	4
	ノロウイルス	9	3	2
検出状況	サポウイルス	11	-	-
	ノロウイルス (IC法)	11	1	3
	ノロウイルス	4	1	1

⑥院内感染対策検査実績

院内感染の病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分	施設	検体数	項目内訳
				カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (パルスフィールドゲル電気泳動法)
令和4年度		-	-	-
令和5年度		-	-	-
令和6年度		-	-	-

⑦薬剤耐性菌検査実績

薬剤耐性菌感染症患者の検体検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目内訳		
			カルバペネム耐性腸内細菌目細菌	バンコマイシン耐性腸球菌	薬剤耐性アシネトバクター
令和4年度		13	10	3	-
令和5年度		1	1	-	-
令和6年度		3	2	-	1

⑧麻しん・風しん検査実績

令和5年度から、麻しん・風しんが疑われる患者の検体検査を開始した。

(単位：件)

区分	年度	令和5年度	令和6年度
検体数		33	44
麻しんウイルス		33	44
麻しんウイルス遺伝子型別解析		-	1
風しんウイルス		33	44
風しんウイルス遺伝子型別解析		-	-

⑨新型コロナウイルス感染症検査実績

5類移行後も、新たな変異株の出現に注意することが必要であることから、ゲノムサーベイランスの一環としてのゲノム解析等の検査を実施した。(高齢者施設等の集団発生施設から提供を受けた検体により実施)

ア 令和6年度 PCR検査

(単位：件)

検査数	検査結果	
	陽性	陰性
61	58	3

イ 令和6年度 ゲノム解析

検査数 ・ 検体採取 延べ施設数	検査結果			
	合計	オミクロン株		判定不能
		BA.2系統	組換え系統	
		BA.2.86系統	XEC系統	
検査数 (件)	59	29	6	24
検体採取※ 延べ施設数	25	15	5	5

※検査を実施した検体全てが判定不能であった施設のみ判定不能に計上し、検査を実施した検体の一部が判定不能であった施設は、検出された系統に計上した。

⑩食中毒関連対策検査実績

食中毒事件及び苦情等に係る検査について、微生物学的検査を実施した。

(単位：件)

区 分		計	食品	便	拭取り	その他
令和4年度	検体数	379	105	194	77	3
	項目数	2,669	105	1,458	1,103	3
令和5年度	検体数	249	35	150	64	-
	項目数	3,078	35	2,057	986	-
令和6年度	検体数	181	7	128	45	1
	項目数	2,517	24	1,767	725	1
項目 内 訳	サルモネラ属菌	131	1	90	40	-
	黄色ブドウ球菌	131	1	90	40	-
	腸炎ビブリオ	131	1	90	40	-
	腸管出血性大腸菌	156	6	105	45	-
	その他の病原性大腸菌	131	1	90	40	-
	ウェルシュ菌	131	1	90	40	-
	セレウス菌	131	1	90	40	-
	エルシニア エンテロコリチカ	131	1	90	40	-
	カンピロバクター ジェジュニ/コリ	138	1	96	40	1
	ナグビブリオ	131	1	90	40	-
	コレラ菌	131	1	90	40	-
	赤痢菌	131	1	90	40	-
	チフス菌	131	1	90	40	-
	パラチフス A 菌	131	1	90	40	-
	エロモナス ヒドロフィラ/ソブリア	131	1	90	40	-
	プレジオモナス シグロイデス	131	1	90	40	-
	ビブリオ フルビアリス	131	1	90	40	-
	ビブリオ ミミクス	131	1	90	40	-
	クドアセプトンクタータ	-	-	-	-	-
	ノロウイルス	97	1	96	-	-
	サポウイルス	12	-	12	-	-
その他	18	-	18	-	-	
検 出 状 況	黄色ブドウ球菌	23	-	22	1	-
	腸管出血性大腸菌	4	1	3	-	-
	その他の病原性大腸菌	22	-	22	-	-
	ウェルシュ菌	10	-	10	-	-
	セレウス菌	4	-	4	-	-
	カンピロバクター ジェジュニ/コリ	17	1	15	-	1
	ノロウイルス	32	1	31	-	-

2 臨床検査

原子爆弾被爆者の健康診断としての尿検査、エイズ予防対策としての HIV 検査、性感染症予防対策としての梅毒抗体検査、結核予防対策としてのクオンティフェロン（QFT）検査、結核菌塗抹培養検査を実施した。

（単位：件）

区分		年度			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
尿	糖	19	22	12	
	蛋白	19	22	12	
	潜血	19	22	12	
	ウロビリノーゲン	19	22	12	
喀痰	結核菌	塗抹鏡検	-	3	-
		培養	-	3	-
血液	QFT		103	145	121
	HIV		567	713	678
	梅毒抗体		516	673	636

3 食品衛生検査

食品の安全性を確保する目的で、食品等の細菌数及び病原起因菌等の微生物学的検査並びに理化学検査を実施した。

①収去食品細菌検査実績

（単位：件）

区分 年度	検体数	項目数	項目内訳									
			一般細菌数 (生菌数)	大腸菌群	大腸菌	球菌	黄色ブドウ	属菌	サルモネラ	オ腸炎ビブリ	オ腸炎ビブリ (最確数)	ジウム属菌
令和4年度	24	48	24	17	7	-	-	-	-	-	-	-
令和5年度	138	268	130	111	19	-	-	-	-	8	-	-
令和6年度	134	260	126	113	13	-	-	-	-	8	-	-

②収去食品理化学検査実績

(単位：件)

区分 年度	検体数	項目数	項目内訳					
			トリウム	サツカリナ	ソルビン酸	安息香酸	デヒドロ酢酸	亜硝酸根
令和4年度	-	-	-	-	-	-	-	-
令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-
令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-

③乳類規格試験実績

(単位：件)

区分 年度	検体数	項目数	項目内訳					
			(生菌数) 一般細菌数	大腸菌群	比重	酸度	分 無脂乳固形	乳脂肪分
令和4年度	-	-	-	-	-	-	-	-
令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-
令和6年度	2	8	2	2	1	1	1	1

④施設拭取り検査実績

(単位：件)

区分 年度	検体数	項目数	項目内訳	
			大腸菌	黄色ブドウ球菌
令和4年度	-	-	-	-
令和5年度	-	-	-	-
令和6年度	-	-	-	-

4 環境衛生検査

公衆浴場等の衛生状態を確認するために、レジオネラ属菌等の検査を実施した。

(単位：件、[]：実施施設数)

年度	区分	レジオネラ属菌			大腸菌群	大腸菌	過マンガン酸 カリウム消費量
		迅速法	培養法	菌種・ 血清群			
令和4年度		[3]11	[3]21	-	-	-	-
令和5年度		[5]56	[5]73	[1]14	[2]6	-	[5]16
令和6年度		[13]54	[13]89	-	[11]32	[8]19	[12]51

5 精度管理業務

検査結果の信頼性を確保する目的で、内部精度管理及び外部精度管理を実施した。

令和4年度の内部精度管理は、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小して実施した。

①内部精度管理実施実績

(単位：件)

区分		年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
細菌検査	添加回収試験	一般細菌数（生菌数）	2	12	13
	陽性対照試験	大腸菌群	2	11	12
		大腸菌	1	3	2
		黄色ブドウ球菌	-	-	-
		サルモネラ属菌	-	-	-
		腸炎ビブリオ	-	1	1
		クロストリジウム属菌	-	-	-
	繰り返し試験	一般細菌数（生菌数）	2	4	5

②外部精度管理実施実績

(単位：件)

区分		年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般財団法人食品薬品安全センター	細菌検査	一般細菌数	1	1	1
		大腸菌群	1	1	1
		大腸菌	1	1	1
		黄色ブドウ球菌	1	1	1
		サルモネラ属菌	1	1	1
		腸内細菌科菌群	-	1	1
厚生労働省	細菌検査	コレラ菌	1	1	1
	ウイルス検査	麻しん・風しんウイルス	-	1	1
		新型コロナウイルス	2	-	-
		新型コロナウイルス遺伝子解析	1	1	-
千葉県衛生研究所	細菌検査	カンピロバクター属菌	-	1	-
		腸管出血性大腸菌	1	-	-
		結核菌	-	-	1
	ウイルス検査	ノロウイルス	1	1	1
英国食料環境研究庁	細菌検査	レジオネラ属菌	-	1	-
日水製薬株式会社	細菌検査	レジオネラ属菌	1	-	-
島津ダイアグノスティクス株式会社	細菌検査	レジオネラ属菌	-	-	1
特定非営利活動法人結核感染診断研究会	血液検査	QFT 検査	1	1	1

第3章 調査・研究

1. 市内飲食店で発生した腸管出血性大腸菌による食中毒事例について (検査部門からの報告)

まつしたみなみ
松下南・片桐裕香・春名聡子・佐藤順子・檜舘洋子
松野朝之【船橋市衛生試験所】・筒井勝【船橋市保健所】

【要旨】

市内飲食店を利用した体調不良の客から腸管出血性大腸菌 0-157 が検出されたとの届出があった件について、当該店舗から収去された食品の遺伝子試験、生化学性状試験及び血清型別試験を行ったところ、腸管出血性大腸菌 0-157 (VT1VT2) が検出された。

【目的】

適切な手技により目的となる病原菌を検出することで、食中毒疑い事案の原因究明および指導等につなげる。

【方法】

収去された食品 5 検体（すべてハンバーグ）について、以下の手順で試験を実施した。

- (1) ノボビオシン含有 m E C 培地及びノボビオシン不含 m E C 培地にてそれぞれ 10% 増菌培養液を作成し、VT 遺伝子検出試験を行う。
- (2) (1) で VT 遺伝子陽性となった検体について、免疫磁気ビーズ法及び直接塗抹にて分離平板培地へ塗抹する。
- (3) (2) の分離平板培地より、定型集落を釣菌し、生化学性状試験及び血清型別試験を行う。
- (4) (3) にて生化学性状及び血清型別試験が腸管出血性大腸菌 0-157 と一致したものについて、VT 遺伝子型別試験を行う。

【結果】

試験を実施した 5 検体のうち、1 検体について腸管出血性大腸菌 0-157 (VT1VT2) 陽性と判定した。

検体番号	検体内容	ノボビオシン	VT 遺伝子	分離平板培地からの釣菌	STEC上の集落の色調	生化学性状	血清型別	VT遺伝子型別
1	成形済み未加熱 (参考品)	含有	(-)					
		不含	(-)					
2	加熱済み (参考品)	含有	(+)	実施	灰色	一致	不一致	
		不含	(-)					
3	×月24日製造 未加熱(検食)	含有	(+)	実施	紫色	一致	省略	省略
		不含	(+)	実施	紫色	一致	一致	VT1VT2
4	×月26日製造 未加熱(検食)	含有	(-)					
		不含	(+)	実施	灰色	不一致		
5	×月27日製造 未加熱(検食)	含有	(+)	実施	灰色・白色	不一致		
		不含	(-)					

【考察】

食中毒疑い事案において、食品の残品等が収去できる事例は限られているため、今回目的となる病原菌を検出できたことは非常に有意義であった。一方、VT 遺伝子を検出したが、生化学性状や血清型別が一致せず陰性と判定した検体も一定数見られた。食中毒疑い事案の原因究明及び指導等につなげるため、今後も限られた機会の中で適切な試験を実施できるよう、手技の習練に励みたい。

第4章 その他

1 学会、研修会及び会議等への参加

時期	会議等名	開催地
R6. 4. 1-12、 5. 7-17	実地疫学専門家養成研修 (FETP)	web
R6. 6. 5	令和 6 年度 第 1 回地方衛生研究所等を対象とした微生物分野の 基礎的な研修	web
R6. 7. 5	保護具着用管理責任者養成講習会	東京都
R6. 7. 24-25	令和 6 年度保健所等職員研修 食品化学コース (乳及び乳製品の成分規格検査)	千葉県
R6. 8. 19-9. 12、 9. 20	令和 6 年度保健所等職員研修 検査新任者研修	千葉県
R6. 9. 5-6	令和 6 年度検査機関に対する検査能力・精度管理等の向上を目的 とした講習	web
R6. 9. 25-27	令和 6 年度薬剤耐性菌の検査に関する基本研修コース	東京都
R6. 10. 3-4	地衛研協議会関東甲信静支部 ウイルス研究部会	神奈川県
R6. 10. 7-11	令和 6 年度新興再興感染症技術研修 (ウイルスコース)	東京都
R6. 10. 8	令和 6 年度薬剤耐性菌の検査に関する研修アップデートコース	web
R6. 10. 20	結核診断研究会総会研修	web
R6. 10. 23、 11. 28	地衛研協議会関東甲信静支部 地域保健総合推進事業 地域専門家会議	web
R6. 11. 11	地衛研協議会関東甲信静ブロック 地域レファレンスセンター会議	web
R6. 11. 14	地方衛生研究所等職員セミナー (初任者向け)	東京都
R6. 12. 18-19	希少感染症診断技術研修会	web
R7. 1. 16-17	地衛研協議会関東甲信静支部 細菌研究部会	埼玉県
R7. 1. 23	分子疫学研修	web
R7. 1. 31	2024 年度レジオネラ属菌検査セミナー	東京都
R7. 2. 28	地方感染症情報センター担当者会議	web
R7. 2. 28	地衛研協議会ゲノム班会議	web
R7. 3. 11	令和 6 年度 地方衛生研究所全国協議会精度管理部会研修会	web

2 公衆衛生情報等の収集・解析・提供

(1) 感染症法5類定点把握疾患の感染者数等の解析

統計ソフト「アール」を用いて感染症法5類定点把握疾患の感染者数等の解析を行い関係機関へ情報提供した。

(2) ふなばし感染症情報ホームページの更新（毎週金曜日 16 時更新）

感染症の発生状況について情報を収集・整理し、週報・月報・注目疾患のコラム等を作成して関係機関及び住民等へ周知した。

（ふなばし感染症情報ホームページへのリンク）

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kenkou/kansenshou/001/p115700.html>

船橋市衛生試験所（船橋市保健福祉センター外観）



〒273-8501

千葉県船橋市北本町 1-16-55

船橋市保健福祉センター 4階

TEL 047-409-3801

FAX 047-409-3561

E-mail eiseishiken@city.funabashi.lg.jp